

2019年3月期

決算説明会 プレゼンテーション資料

2019年5月28日

証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

INDEX

I. 2019年3月期 決算の概要

- 1. 決算概要（連結、セグメント別）… P 3
- 2. 損益計算書（連結、個別）… P 5
- 3. 部門別の概況… P 7
- 4. 貸借対照表（連結、個別）… P 13
- 5. キャッシュ・フロー（連結）… P 17

II. 中期経営計画の概要

- 1. 中期経営計画の展開状況… P 19
- 2. 前中期経営計画の評価… P 20
- 3. 新中期経営計画 骨子… P 24
- 4. 新中期経営計画… P 25
 - 企業理念と経営基本方針
- 5. 新中期経営計画 重点施策… P 26

- 6. 新中期経営計画… P 31
 - 経営目標と経営指標
- 7. 新中期経営計画 財務方針… P 32

III. 2020年3月期 業績見通し

- 1. 2020年3月期の業績見通し（連結）… P 34
- 2. 配当… P 35

I. 2019年3月期 決算の概要



1. 2019年3月期 ① 決算概要（連結）

● 経営環境

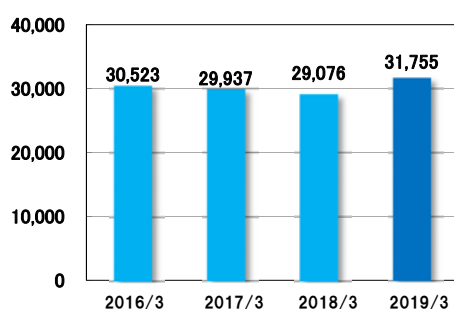
- 米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題等、海外情勢は先行き不透明な状況が継続
- 企業業績は堅調に推移、雇用・所得も改善、自動化・機械化の進展により設備投資は緩やかに増加も、年度後半からは減速傾向

● 決算概要

- 売上高は、海外向け建機販売が好調で、プラント・設備工事関連で工事案件の完工も進み、増収
- 利益は、環境設備関連とプラント・設備工事関連の利益が伸長したことから、前期比増益
- 経常利益、当期純利益は過去最高益を達成

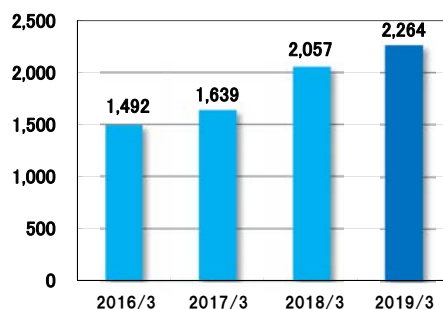
売上高 (百万円)

317億5千5百万円
(前期比 +9.2%)



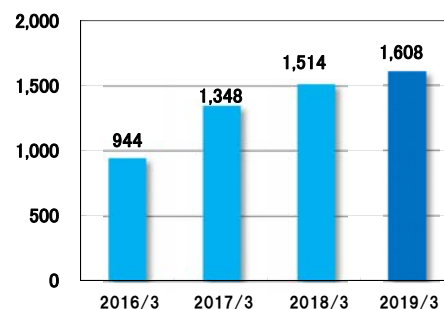
経常利益 (百万円)

22億6千4百万円
(前期比 +10.0%)



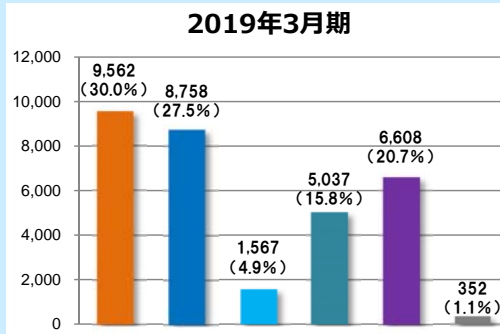
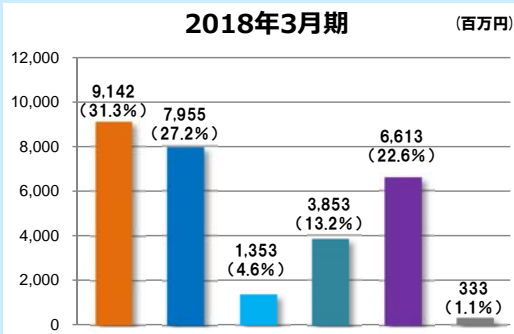
当期純利益 (百万円)

16億 8百万円
(前期比 +6.2%)



1. 2019年3月期 ②決算概要 (セグメント別)

売上高



資源・金属素材
関連

産機・建機
関連

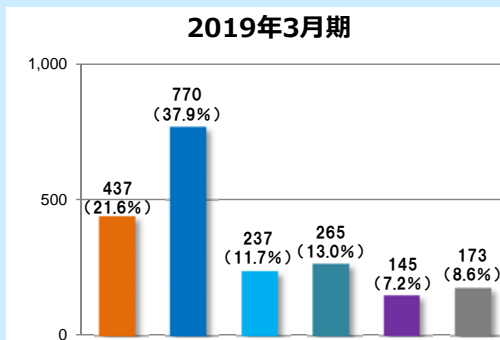
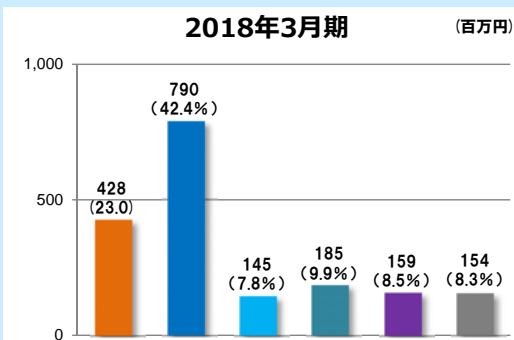
環境・設備
関連

プラント・設備工事
関連

化成品
関連

不動産賃貸
関連

営業利益



注)
①売上高はセグメント間の内部売上高を含む。
②営業利益の構成比は、全社費用を除く報告セグメント合計を分母として算出。

4

2. 2019年3月期 ①損益計算書 (連結)

(単位:百万円・%)

	前期 (2018.3)		当期 (2019.3実績)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	29,076	100	31,755	100	2,678	9.2
資源・金属素材関連	9,142	31.4	9,562	30.1	419	4.6
産機・建機関連	7,911	27.2	8,757	27.6	845	10.7
環境・設備関連	1,353	4.7	1,567	4.9	213	15.8
プラント・設備工事関連	3,843	13.2	5,029	15.8	1,186	30.9
化成品関連	6,613	22.7	6,608	20.8	▲5	▲0.1
不動産賃貸関連	212	0.7	230	0.7	18	8.6
売上総利益	5,803	20.0	6,115	19.3	311	5.4
販売費及び一般管理費	3,939	13.5	4,085	12.9	146	3.7
営業利益	1,863	6.4	2,029	6.4	165	8.9
営業外収支	193	0.7	234	0.7	40	21.0
経常利益	2,057	7.1	2,264	7.1	206	10.0
特別利益	-	-	101	0.3	101	-
特別損失	0	0.0	9	0.0	8	8,846.1
税引前当期利益	2,057	7.1	2,356	7.4	298	14.5
当期純利益	1,514	5.2	1,608	5.1	93	6.2
1株当り当期純利益(円)	133.42		132.41		▲1.01	
1株当り配当金(円)	33		34		1	
配当性向(%)	24.7		25.7		1.0	

5

2. 2019年3月期 ②損益計算書（個別）

（単位：百万円・％）

	前期 (2018.3)		当期 (2019.3実績)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	18,451	100	19,887	100	1,436	7.8
資源・金属素材関連	9,142	49.5	9,562	48.1	419	4.6
産機・建機関連	7,955	43.1	8,758	44.0	802	10.1
環境設備関連	1,353	7.3	1,567	7.9	213	15.8
売上総利益	4,749	25.7	4,923	24.8	173	3.6
販売費及び一般管理費	3,385	18.3	3,477	17.5	92	2.7
営業利益	1,364	7.4	1,445	7.3	81	5.9
営業外収支	59	0.3	69	0.3	10	17.3
経常利益	1,423	7.7	1,514	7.6	91	6.4
特別利益	-	-	0	0.0	0	-
特別損失	0	0.0	9	0.0	8	10,426.0
税引前当期利益	1,423	7.7	1,505	7.6	82	5.8
当期純利益	962	5.2	1,020	5.1	57	6.0
1株当り当期純利益(円)	84.11		83.37		▲0.74	

6

3. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- 主力のジルコンサンドは、品薄状態や中国経済の減速懸念等から減収
- 輸入原料は、ジルコニアをはじめ堅調な需要を背景に大幅な増収

（単位：百万円・％）

	売上高				受注高			
	前々期 (2017.3)	前期 (2018.3)	当期 (2019.3)	前期との差 (%)	前々期 (2017.3)	前期 (2018.3)	当期 (2019.3)	前期との差 (%)
ジルコンサンド	2,787	2,875	2,391	▲484 (▲16.8)	3,229	2,466	2,364	▲101 (▲4.1)
チタン原料	1,011	1,025	686	▲338 (▲33.0)	1,096	1,063	621	▲442 (▲41.6)
輸入原料	1,052	1,697	2,925	1,227 (72.3)	1,216	1,851	3,017	1,166 (63.0)
金属シリコン	3,631	3,223	3,194	▲29 (▲0.9)	3,519	3,356	3,243	▲113 (▲3.4)
その他商品	378	319	363	44 (13.8)	395	306	373	67 (22.0)
合計	8,861	9,142	9,562	419 (4.6)	9,456	9,043	9,620	576 (6.4)
粗利益率	4.48	11.52	9.82	▲1.70	5.05	12.07	9.86	▲2.21

7

3. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 産業機械は、国内で各種ポンプ類の販売が堅調に推移
- 建設機械は、海外向けシールド掘進機の販売好調等から前期比で増収

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2017.3)	前期 (2018.3)	当期 (2019.3)	前期との差 (%)	前々期 (2017.3)	前期 (2018.3)	当期 (2019.3)	前期との差 (%)
ワーマンポンプ	3,018	3,125	3,271	145 (4.7)	3,038	3,285	3,255	▲29 (▲0.9)
ヒドロスタルポンプ	1,692	1,657	1,568	▲89 (▲5.4)	1,803	1,528	1,652	123 (8.1)
その他ポンプ	518	480	556	76 (16.0)	494	488	598	109 (22.5)
その他産業機械	1,087	1,761	2,002	241 (13.7)	1,249	1,970	1,797	▲173 (▲8.8)
産業機械 計	6,316	7,024	7,399	374 (5.3)	6,585	7,273	7,303	30 (0.4)
シールド掘進機	1,140	790	1,209	419 (53.0)	1,154	1,176	1,142	▲33 (▲2.9)
その他建設機械	192	140	149	9 (6.4)	190	141	219	77 (55.2)
建設機械 計	1,332	931	1,359	428 (46.0)	1,345	1,317	1,361	44 (3.3)
合計	7,648	7,955	8,758	802 (10.1)	7,931	8,590	8,665	74 (0.9)

8

3. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 水砕スラグ製造設備は、売上高が減少するも、受注高は大幅に増加
- プツマイスターポンプ関連は、大型案件が寄与したことから、売上高、受注高とも大幅に増加

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2017.3)	前期 (2018.3)	当期 (2019.3)	前期との差 (%)	前々期 (2017.3)	前期 (2018.3)	当期 (2019.3)	前期との差 (%)
水砕スラグ製造設備	531	401	366	▲35 (▲8.9)	451	260	461	200 (77.0)
プツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	882	683	883	199 (29.2)	1,013	724	998	273 (37.8)
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	423	267	317	50 (18.8)	353	312	416	103 (33.2)
合計	1,837	1,353	1,567	213 (15.8)	1,817	1,298	1,876	578 (44.6)

9

3. 部門別の概況 ④プラント・設備工事関連

- 子会社旭テックが担うセグメント
- 受注は好調に推移し、工事の完工も予定通り進み、増収増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2018.3)	当期 (2019.3)	増減額	増減率	前期 (2018.3)	当期 (2019.3)	増減額	増減率
プラント・設備工事関連	3,853	5,037	1,183	30.7	4,095	6,219	2,124	51.9

10

3. 部門別の概況 ⑤化成品関連

- 子会社イズミが担うセグメント
- 自動車関連の競合厳しく、電線業界向け合成樹脂の販売にも陰り
- 販売効率化や経費削減に努めるも、わずかに減収減益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2018.3)	当期 (2019.3)	増減額	増減率	前期 (2018.3)	当期 (2019.3)	増減額	増減率
化成品関連	6,613	6,608	▲5	▲0.1	6,773	6,522	▲251	▲3.7

11

3. 部門別の概況 ⑥不動産賃貸関連

- 子会社ラサ・リアルエステートの担うセグメント
- 当社グループ全体での一体運営を徹底
- オフィスビルの稼働状況はほぼ100%と良好
- 遊休資産を売却し、賃貸物件への買換を実施

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2018.3)	当期 (2019.3)	前期比	
			増減	増減率
不動産賃貸関連	333	352	18	5.4

12

4. 貸借対照表 (連結) ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2018.3)		当期末 (2019.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	16,896	57.3	19,253	60.4	2,357	14.0
現金及び預金	4,249		3,315		▲934	53.5
受取手形及び売掛金	8,930		9,207		276	3.1
完成工事未収入金	857		1,902		1,044	121.8
商品及び製品	1,343		2,956		1,612	120.0
未成工事支出金	1,350		1,504		153	11.3
その他	164		368		204	124.5
固定資産	12,590	42.7	12,601	39.6	10	0.1
有形固定資産	8,503	(28.8)	8,473	(26.6)	▲30	▲0.4
土地	6,245		6,331		86	1.4
建物及び構築物	2,093		2,004		▲88	▲4.2
その他	165		136		▲28	▲17.5
無形固定資産	30	(0.1)	117	(0.4)	87	287.2
投資その他資産	4,057	(13.8)	4,010	(12.6)	▲46	▲1.1
投資有価証券	3,110		3,071		▲39	▲1.3
その他	946		939		▲6	▲0.7
資産合計	29,487	100.0	31,854	100.0	2,367	8.0

13

4. 貸借対照表（連結） ②負債・資本の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2018.3)		当期末 (2019.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	9,075	(30.8)	11,610	(36.4)	2,534	27.9
支払手形及び買掛金	4,340		5,319		978	22.5
工事未払金	410		374		▲36	▲8.8
短期借入金	1,667		2,999		1,332	79.9
1年内返済予定の長期借入金	1,190		1,160		▲29	▲2.5
未払法人税等	435		511		75	17.3
賞与引当金	287		337		50	17.5
その他	743		906		163	22.0
固定負債	4,712	(16.0)	4,373	(13.7)	▲339	▲7.2
長期借入金	3,991		3,647		▲344	▲8.6
繰延税金負債	337		363		26	7.9
退職給付に係る負債	118		85		▲33	▲28.1
役員株式給付引当金	36		49		13	35.9
その他	228		227		▲1	▲0.8
負債合計	13,788	46.8	15,983	50.2	2,194	15.9
株主資本	15,312		15,639		326	2.1
その他の包括利益累計額	386		232		▲153	▲39.9
純資産合計	15,698	53.2	15,871	49.8	172	1.1
負債純資産合計	29,487	100.0	31,854	100.0	2,367	8.0
自己資本比率（％）	53.2		49.8		▲3.4	

14

4. 貸借対照表（個別） ①資産の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2018.3)		当期末 (2019.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	10,685	56.6	12,175	60.2	1,490	13.9
現金及び預金	2,623		1,961		▲661	▲25.2
受取手形	2,184		2,184		0	0.0
売掛金	4,520		4,857		336	7.5
商品	1,308		2,893		1,585	121.2
その他	49		278		228	463.3
固定資産	8,197	43.4	8,065	39.8	▲131	▲1.6
有形固定資産	665	(3.5)	664	(3.3)	0	▲0.1
土地	464		464		0	0.0
建物	122		121		0	▲0.4
その他	78		78		0	▲0.5
無形固定資産	20	(0.1)	108	(0.5)	88	434.9
投資その他資産	7,511	(39.8)	7,291	(36.0)	▲219	▲2.9
投資有価証券	1,221		1,017		▲204	▲16.7
関係会社株式	4,739		4,739		0	0.0
保険積立金	731		641		▲90	▲12.4
その他	817		893		75	9.2
資産合計	18,882	100.0	20,241	100.0	1,358	7.2

15

4. 貸借対照表（個別） ②負債・資本の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2018.3)		当期末 (2019.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	5,222	27.7	6,645	32.8	1,423	27.2
支払手形	1,463		1,506		42	2.9
買掛金	1,268		2,141		873	68.9
短期借入金	720		1,570		850	118.1
1年内返済長期借入金	758		447		▲310	▲41.0
未払法人税等	378		393		14	3.9
賞与引当金	230		259		29	12.6
その他	403		327		▲76	▲18.9
固定負債	550	2.9	885	4.4	335	60.9
長期借入金	367		736		368	100.4
退職給与引当金	93		55		▲37	▲40.6
役員株式給付引当金	36		49		13	35.9
その他	52		43		▲8	▲17.1
負債合計	5,772	30.6	7,531	37.2	1,758	30.5
純資産合計	13,110	69.4	12,710	62.8	▲399	▲3.0
負債純資産合計	18,882	100.0	20,241	100.0	1,358	7.2
自己資本比率（％）	69.4		62.8		▲6.6	

16

5. キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	前期 (2018.3)	当期 (2019.3)	当期の主要項目	
営業キャッシュ・フロー	2,174	▲460	税金等調整前当期純利益	2,356
			売上債権の増減額(▲は増加)	▲1,321
			たな卸資産の増減額(▲は増加)	▲1,763
			仕入債務の増減額(▲は減少)	942
			未成工事受入金の増減額(▲は減少)	222
			法人税等の支払額	▲598
投資キャッシュ・フロー	▲524	▲147	有形固定資産の取得による支出	▲506
			有形固定資産の売却による収入	401
			保険積立金の積立による支出	▲185
			保険積立金の払戻による収入	252
財務キャッシュ・フロー	▲168	▲326	短期借入金の純増減額(▲は減少)	1,332
			長期借入金の純増減額(▲は減少)	▲373
			自己株式の取得による支出	▲865
			配当金の支払額	▲443
換算差額	▲0	0		
増減	1,481	▲934		
期首残高	2,768	4,249		
期末残高	4,249	3,315		

17

Ⅱ. 中期経営計画の概要



18

1. 中期経営計画の展開状況

2018年度で前中期経営計画の3か年を終え
2019年度より新中期経営計画がスタート

2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
--------	--------	--------	--------	--------	--------

前中期経営計画

Next Stage Rasa 2018
～80周年への布石～

新中期経営計画

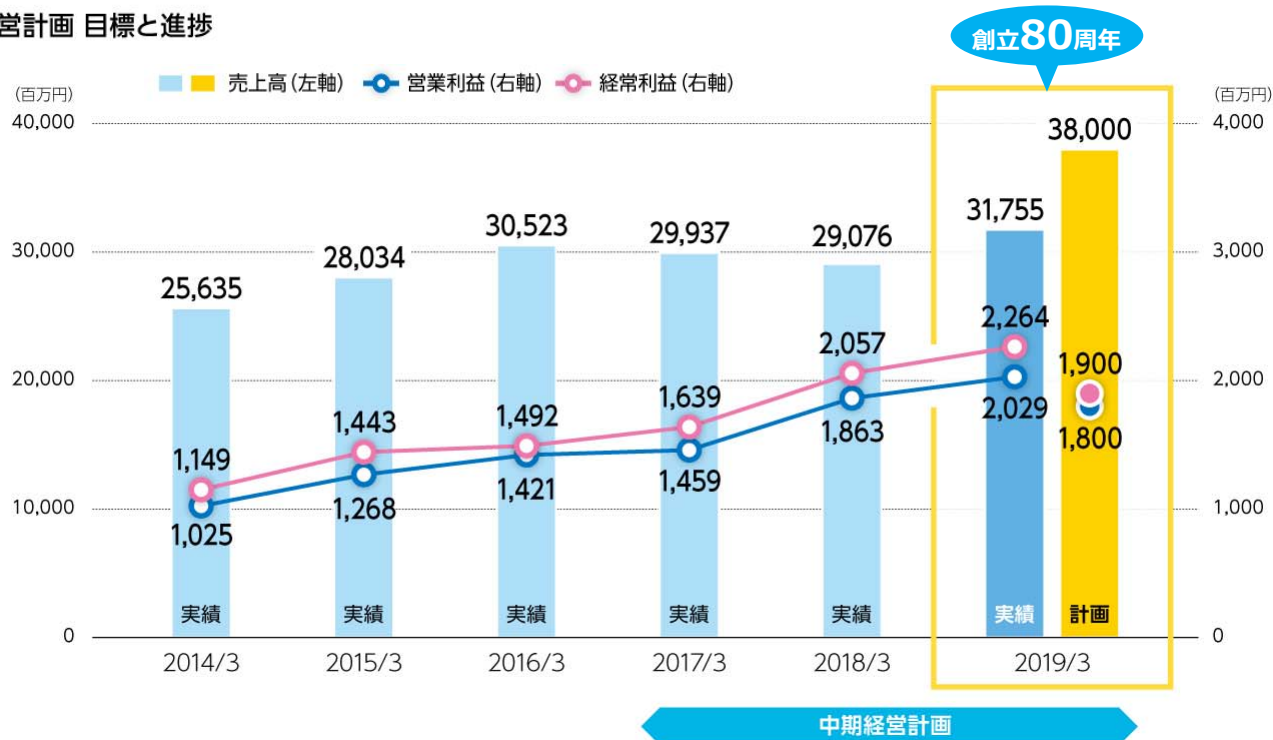
Value Up Rasa 2021
～企業価値の創造～

19

2. 前中期経営計画の評価 ①

経営基盤の構築・強化に伴い、高収益化が順調に進む

▶ 中期経営計画 目標と進捗



20

2. 前中期経営計画の評価 ②

売上高・自己資本比率を除く各指標で、目標を達成

	2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2018年度 目標
売上高	299億円	290億円	317億円	380億円
営業利益	14億円	18億円	20億円	18億円
経常利益	16億円	20億円	22億円	19億円
親会社に帰属する 当期純利益	13億円	15億円	16億円	12億円
ROE	10.8%	10.6%	10.2%	8%以上
売上高経常利益率	5.5%	7.1%	7.1%	5%以上
自己資本比率	46.7%	53.2%	49.8%	50%以上

21

2. 前中期経営計画の評価 ③

前中計3か年は、80周年を変革の好機と捉え、今後の持続的成長に向け、経営基盤の構築・強化に注力

主な成果など（経営全般）

- 機械関連3事業を中心に収益基盤の強化が進み、これが当社グループ高収益化の最大の要因となった
- この背景として、事業間・グループ会社間のシナジー創出が進んだ
 - ・顧客・営業・業務等の共有化
 - ・人的交流 など
- コーポレートガバナンスの充実が更に進んだ
 - ・当社取締役への業績連動型株式報酬制度を導入（中計1年目のH28年8月）
 - ・監査等委員会設置会社へ移行（中計2年目のH29年6月）
 - ・取締役会の実効性評価を実施（中計期間中に3回実施） など

22

2. 前中期経営計画の評価 ④

主な成果など（事業別のポイント）

資源・金属 素材関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 相場変動に対応できる鉱産物在庫水準の見直しを実施 ● 金属シリコンの売上が計画を大幅に下回り、中計の売上未達に関する主要な要因に ● シルコンサンドに続く主力商品の創出が今後の課題
産機・建機 関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 中計最終年度に、機械営業本部と環境営業本部を統合し、国内外における効率的かつ効果的な営業体制を構築
環境設備 関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 中計3か年すべてで売上総利益の目標をクリア ● 中計2年目にシンガポール駐在員事務所を支店に昇格 ⇒アジアでの販売体制を強化
プラント・設備 工事関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 積極的な設備投資（新工場など）と人材投資による事業基盤強化を推進 ● 既存顧客の設備更新需要取り込みに加え、新規事業拡大も順調 ● 中計2年目はやや落ち込んだが、業績は拡大基調
化成品 関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内顧客の海外需要の着実な取り込みを推進 ● 中計3か年すべてで営業利益の目標をクリア
不動産賃貸 関連	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ遊休地の有効活用を着実に推進 （イズミの飯能工場跡地、八潮駐車場、旧旭テック本社 など）

23

3. 新中期経営計画 骨子

2019年度

2020年度

2021年度

新中期経営計画

Value Up Rasa 2021

～企業価値の創造～

築き上げてきた経営基盤を更に強化し
社会インフラを支える付加価値創出企業として
持続的な成長を目指す

24

4. 新中期経営計画 企業理念と経営基本方針

企業理念

世界に通用する一流技術商品と有用な価値ある資源を
国内外に販売し、豊かな社会に貢献する

経営基本方針

- 1 専門商社の枠組みを超えて、**社会のインフラを支える付加価値創出企業**として、持続的な成長を目指します。
- 2 重点施策の推進を通じて業績拡大を図り、**企業価値の向上**を目指します。
- 3 資本コストを意識した経営をベースに、**配当方針の見直し**も行い、**株主価値の極大化**に努めます。

25

5. 新中期経営計画 重点施策

① グループ各事業における収益基盤の強化

② グループ企業間・各事業間の連携強化とシナジーの拡大

③ ESGを意識した事業展開

④ コーポレート・ガバナンスの高度化

⑤ 経営基盤の強化

26

重点施策

① グループ各事業における収益基盤の強化

資源・金属素材関連

- ジルコンサンドに関する**高付加価値品**の取扱強化と適正在庫管理の徹底
- **新たな資源関連商材**の開拓（酸化チタン、安定化ジルコニア）

環境設備関連

- **非鉄製錬ユーザー**等へのラサ・システムの販売強化
- 省エネやメンテナンス費用逡減を図る**改良製品**の拡販

化成品関連

- 国内顧客の海外生産移管に対応した**海外向け需要**の更なる取り込み強化

産機・建機関連

- 各種ポンプの運転履歴管理の徹底による更新需要の取り込み強化
- **BCP関連**製品（多目的可搬式ポンプユニット「BETSY」等）の拡販と新市場の開拓
- **東南アジア**における小口径シールド掘進機等の建設機械の拡販

プラント・設備工事関連

- 高品質素材（ステンレス、アルミニウム）の**特殊配管工事**の強化
- バイオマス発電、火力発電等の**エネルギー関連分野**での受注推進

不動産賃貸関連

- **グループ保有不動産**の更なる有効活用の推進

27

② グループ企業間・各事業間の連携強化とシナジーの拡大

機械3事業間の連携強化とシナジーの拡大



産機・建機
関連

グループ企業間
の連携強化

ラサ商事(株)

旭テック(株)

大平洋機工(株)

環境設備
関連



プラント・
設備工事
関連



③ ESGを意識した事業展開

- バイオガス発電へのポンプ供給を通じた **クリーンエネルギー**への貢献
- 下水道・し尿処理設備、産業廃棄物設備、発電所等の **社会インフラ**向けの特殊ポンプを通じた貢献
- **自然環境保護、感染症予防**等の社会貢献に関する取組の継続
- **自然災害の復旧活動**における当社製品の迅速な提供 など



バイオガス発電で活用されているブツマイスターポンプ



多目的モバイルポンプユニットBETSY (ベツティー)
* 写真は、2tトラックの荷台に積載したユニット

その他の重点施策

重点施策

④ コーポレート・ガバナンスの高度化

- 任意の指名・報酬委員会の設置と適切な運営の推進
- 社外取締役との議論活性化を含めた
取締役会の更なる機能強化

重点施策

⑤ 経営基盤の強化

- 新基幹情報システムの最終構築
- 新人事制度の導入による生産性の向上
- グループ企業間における人事交流の推進

30

6. 新中期経営計画 経営目標と経営指標

(単位：百万円)

	2018年度 (実績)	2019年度 (計画)	2020年度 (計画)	2021年度 (目標)
経営目標 (連結)	売上高	31,755	32,000	33,500
	営業利益	2,029	1,900	2,100
	経常利益	2,264	2,100	2,300
	親会社に帰属する 当期純利益	1,608	1,460	1,610
目標とする 経営指標 (連結)	ROE (自己資本当期純利益率)	10.2%	—	9%以上
	売上高営業利益率	6.4%	—	6%以上
	自己資本比率	49.8%	—	50%以上

31

7. 新中期経営計画 財務方針

投資方針

財務の健全性に配慮しつつ、企業価値向上に資するM&A案件があれば、機動的に対処するとともに、将来を見据えた能力増強や業務効率化に資する投資も継続して行う。

* 本中期経営計画には新たなM&Aによる売上や収益への寄与は織り込んでおりません。

配当方針

株主様への利益還元については、重要な経営課題との認識のもと、安定配当を基本方針とする。

配当性向は
引き上げる方針

【従来】
25%前後



【2019年度～】
30%前後

32

Ⅲ. 2020年3月期 業績見通し



ラサ商事株式会社

33

1. 2020年3月期の業績見通し (連結)

売上高は若干の増収ながら、利益面では資源・金属素材関連事業の落ち込み・採算悪化から、減益を見込んでおります。

(単位:百万円・%)

【連結】	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	増減	増減率
売上高	31,755	32,000	244	0.8
売上総利益	6,115			
販売費及び一般管理費	4,085			
営業利益	2,029	1,900	▲129	▲6.4
経常利益	2,264	2,100	▲164	▲7.3
当期純利益	1,608	1,460	▲148	▲9.2
1株当り当期純利益(円)	132.41	125.95	▲6.46	▲4.9

34

2. 配当

配当実績 (1株当たり)

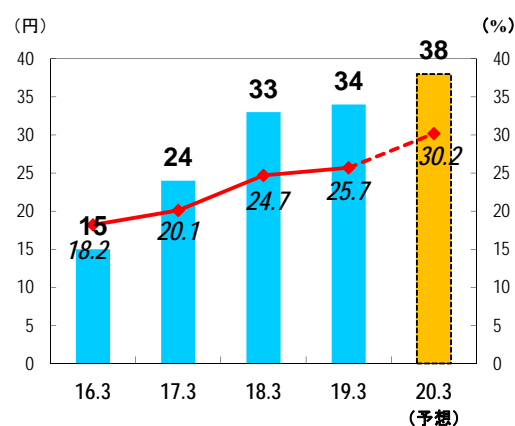
● 2019年3月期実績 **34円**

【中間】16.5円 【期末】17.5円

● 2020年3月期予想 **38円**

【中間】19円 【期末】19円

■ 配当金・配当性向の推移



配当方針 (2020年3月期より)

安定配当



配当性向
30%前後
の維持

【2019年3月期実績】 25.7%

【2020年3月期予想】 30.2%

35